

職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日	校長名		所在地																															
北海道医薬専門学校		平成7年12月5日	館山 昭		〒001-0024 札幌市北区北24条西6丁目2番10号 (電話) 011-716-1950																															
設置者名		設立認可年月日	代表者名		所在地																															
学校法人美専学園		昭和62年12月4日	高橋 英雄		〒001-0024 札幌市北区北24条西8丁目1番12号 (電話) 011-756-0777																															
分野	認定課程名	認定学科名			専門士	高度専門士																														
商業実務	専門課程	薬業学科(医薬品販売専攻)			平成6年文部科学省 告示第84号	-																														
学科の目的 病院や企業と連携し、実務において求められる専門的知識や技能を学生に習得させ、即戦力となる人材の育成を図る。																																				
認定年月日 平成26年3月31日																																				
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技																													
	2年							昼間	1740時間	1270時間	330時間	80時間	60時間	0時間																						
単位時間																																				
生徒総定員		生徒実員	留学生数(生徒実員の内数)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																														
120人		27人	0人	2人	21人	23人																														
学期制度	■前期:4月1日～9月30日 ■後期:10月1日～3月31日			成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 試験・論文・レポートその他の方法並びに通常点(提出物等)をすべて勘案する																															
長期休み	■学年始:4月1日～4月6日 ■夏季:7月13日～8月15日 ■冬季:12月25日～1月16日 ■学年末:2月26日～3月31日			卒業・進級条件	各学年での全教科目を履修し、所定の単位を修得したものに認定会議の議を経る																															
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 長期欠席者への指導等の対応、本人・保護者への連絡・相談			課外活動	■課外活動の種類 体育的行事・儀式的行事・普通応急手当講習・札幌大標本館見学 ■サークル活動: 無																															
就職等の状況※2	■主な就職先、業界等(平成28年度卒業生) ドラッグストア、スーパー・ホームセンター内の医薬品販売部門、調剤薬局、病院内の薬剤部等医療機関			主な学修成果(資格・検定等)※3	■国家資格・検定/その他・民間検定等 (平成28年度卒業生に関する平成29年5月1日時点の情報)																															
	■就職指導内容 自己分析、履歴書作成、面接練習等 <table border="1"> <tr> <td>■卒業生数</td> <td>: 16</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>■就職希望者数</td> <td>: 15</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>■就職者数</td> <td>: 14</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>■就職率</td> <td>: 93.3</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>■卒業生に占める就職者の割合</td> <td>: 87.5</td> <td>%</td> </tr> </table> ■その他 ・進学者数: 0人 (平成29年度卒業生に関する平成30年5月1日時点の情報)				■卒業生数	: 16	人	■就職希望者数	: 15	人	■就職者数	: 14	人	■就職率	: 93.3	%	■卒業生に占める就職者の割合	: 87.5	%	<table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種別</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>登録販売者</td> <td>③</td> <td>14人</td> <td>14人</td> </tr> <tr> <td>ジョブパス検定</td> <td>③</td> <td>12人</td> <td>12人</td> </tr> <tr> <td>調剤事務管理士</td> <td>③</td> <td>7人</td> <td>7人</td> </tr> </tbody> </table> ※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等) ■自由記述欄 (例)認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等			資格・検定名	種別	受験者数	合格者数	登録販売者	③	14人	14人	ジョブパス検定	③	12人	12人	調剤事務管理士	③
■卒業生数	: 16	人																																		
■就職希望者数	: 15	人																																		
■就職者数	: 14	人																																		
■就職率	: 93.3	%																																		
■卒業生に占める就職者の割合	: 87.5	%																																		
資格・検定名	種別	受験者数	合格者数																																	
登録販売者	③	14人	14人																																	
ジョブパス検定	③	12人	12人																																	
調剤事務管理士	③	7人	7人																																	
中途退学の現状	■中途退学者 0名 ■中退率 0% 平成29年4月1日時点において、在学者32名(平成29年4月1日入学者を含む) 平成30年3月31日時点において、在学者32名(平成29年3月31日卒業者を含む) ■中途退学の主な理由																																			
	■中退防止・中退者支援のための取組 日常のサポート・ケア																																			
経済的支援制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有 ※学科特待、AO特待、適性証明特待、ファミリー特待、パブリック奨学、スカラシップ奨学																																			
	■専門実践教育訓練給付: 非給付対象 ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載																																			

第三者による 学校評価	<p>■民間の評価機関等から第三者評価： 無</p> <p>※有の場合、例えば以下について任意記載 (評価団体、受審年月、評価結果又は評価結果を掲載したホームページURL)</p>
当該学科の ホームページ URL	<p>URL:http://www.iyaku.ac.jp</p>

(留意事項)

1. 公表年月日(※1)

最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた告示日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空欄としてください

2. 就職等の状況(※2)

「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業者の「就職率」の取扱いについて(通知)(25文科生第596号)」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。

(1)「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」における「就職率」の定義について

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます。

②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含みません。

③「就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいいます。

※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。

(2)「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について

①「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいいます。

②「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う)。

(3)上記のほか、「就職者数(関連分野)」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進学状況等について記載します。

3. 主な学修成果(※3)

認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他(民間検定等)の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果(例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等)について記載します。

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

本校の各学科の分野におけるプロ養成に必要な基礎から実践まで一貫した教育を施すため、地域企業や外部人材を活用し、より実践的な教育課程を編成するため積極的に企業等と連携する。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

最新の知識・技能・技術を学生に提供する目的で、関連企業・業界団体等からの有識者を選任し、会議にて状況報告、意見を提供し、教育課程の編成を見直す

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

平成30年5月1日現在

名前	所属	任期	種別
西尾 正道	独立行政法人国立病院機構 北海道がんセンター 名誉院長	平成27年4月1日～平成31年3月31日(4年)	①
佐藤 真一	見聞録 代表	平成27年4月1日～平成31年3月31日(4年)	③
新谷 文隆	日本未病システム学会 評議員 有限会社 キューズ・エー	平成27年4月1日～平成31年3月31日(4年)	③
品川 祐基典	医療法人社団木色の木もれ陽 肝臓クリニック 事務長	平成28年4月1日～平成31年3月31日(3年)	③
関澤 充規	全国国立病院療養所 放射線技師会 理事 独立行政法人国立病院機構 北海道がんセンター 診療放射線技師長	平成28年4月1日～平成31年3月31日(3年)	③
坂本 美和子	独立行政法人国立病院機構 北海道医療センター 教育主事	平成29年4月1日～平成31年3月31日(2年)	③
真鍋 尚美	社会福祉法人札幌光明園 まこと保育所 理事長	平成30年4月1日～平成31年3月31日(1年)	①
木村 貴裕	社会福祉法人幸友福祉会 白楊みどり保育園 園長	平成30年4月1日～平成31年3月31日(1年)	③
館山 昭	北海道医薬専門学校 校長		
太田 雅子	北海道医薬専門学校 教務部長、薬業学科長、医療事務学科長		
小林 忍	北海道医薬専門学校 診療放射線学科長		
実原 美和	北海道医薬専門学校 看護学科長		

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

年2回、前期と後期に実施

(開催日時)

第1回 平成30年6月20日 16:00～17:00(予定)

第2回 平成31年2月27日 16:00～17:00(予定)

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

会議にて頂いた意見や情報等は学科毎に持ち帰り、教務会議(担任会議)等にて全教員へ開示する。さらに最新の情報を学生へ提供するように講義・演習にて活用する。次年度の教育課程編成への検討事項とする。

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

学生に対し、医療業界が求める基礎的知識から最新の技能を教育するため、企業、病院と緊密に連携し、授業、実習、演習を展開する。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

- ①職業教育を実施するためのカリキュラムの検討、作成
- ②学生に対する授業・演習・実習の実施
- ③講義・演習・実習用教材の検討、作成
- ④講義・演習・実習の学生評価

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
販売接客マナーⅠ	販売接客員としての電話対応、来客対応などや高齢者・身体障害者などへの対応の仕方を学ぶ	CLD labo
漢方処方製剤	基礎的な漢方製剤と生薬製剤について学ぶ	(株)サッポロドラッグストアー
販売マーケティング	店舗にて販売するための基礎的な知識と経営に関して学ぶ	(株)ソルハ

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針
 教員の業務遂行能力や学生指導能力の向上、最新の業界情報収集を図るため、担当教員の経験年数や担当学科・専攻等を考慮し、研修計画を策定し、研修を受ける機会を積極的に設ける。また必要に応じて学校内・学校外で情報を共有するため、研修報告書の開示や報告会等を実施する。

(2) 研修等の実績
 ① 専攻分野における実務に関する研修等
 H29. 11. 17 (株)サッポロドラッグストア インターンシップ により就業の現場を視察、その後の指導・助言
 H30. 1. 20 北海道薬剤師会理事 「薬局の現状と今後」をテーマとした講話、その後の指導・助言
 H30. 3. 7 (株)ツルハ人事担当者 「消費者が求めるドラッグストアの機能と人材」をテーマとした講話、その後の指導・助言
 ② 指導力の修得・向上のための研修等
 授業参観、研究授業、フィードバック等

(3) 研修等の計画
 ① 専攻分野における実務に関する研修等
 H30. 5. コープさっぽろ 「業界動向について」をテーマとした講話、その後の指導・助言
 H30. 11 (株)サッポロドラッグストア インターンシップ により就業の現場を視察、その後の指導・助言
 H31. 1 (株)ツルハ人事担当者 「消費者が求めるドラッグストアの機能と人材」をテーマとした講話、その後の指導・助言
 ② 指導力の修得・向上のための研修等
 授業参観、研究授業、フィードバック等

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針
 自己評価と学校関係者評価を実施することで、学校の現状と課題を的確に具体的に把握して学校運営の改善、強化を目指すものである。また、同時に関係する業界、企業等との信頼関係を深めることを基本の方針としている。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	学校の教育理念・目的・人材育成は明確になっているか
(2) 学校運営	教育活動に関する情報公開がなされているか
(3) 教育活動	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか
(4) 学修成果	就職率の向上が図られているか
(5) 学生支援	学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか
(6) 教育環境	防災に対する体制は整備されているか
(7) 学生の受入れ募集	学生募集活動は適性に行われているか
(8) 財務	財務について会計監査が適性に行われているか
(9) 法令等の遵守	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか
(10) 社会貢献・地域貢献	
(11) 国際交流	留学生の受け入れ・派遣について戦略を持っておこなっているか

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況
 学校の状況(課題や教育活動の取組)を広く理解してもらうと共に、信頼関係を深めるためにホームページ上に公開し、関係者よりご意見等を集約している

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿 平成30年5月1日現在

名前	所属	任期	種別
河村和義	(株)アトリエK一級建築士事務所	平成25年11月1日～平成30年3月31日(4年)	企業関係者
櫻井俊二	(有)I.B.DESIN	平成25年11月1日～平成30年3月31日(4年)	卒業生
山森鉄雄	山森鉄雄司法書士事務所	平成25年11月1日～平成30年3月31日(4年)	企業有識者
細木 実	細木整骨院	平成30年11月1日～平成31年3月31日(1年)	卒業生

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。
 (例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期
 (ホームページ・広報誌等の刊行物・その他())6月を目途にホームページで公表
 URL: <https://www.iyaku.ac.jp> (北海道医薬専門学校)

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

学校の状況(課題や教育活動の取組)を広く理解してもらい、さらに企業等との信頼関係を深める。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	経営方針、学校の特色、人材育成の特色
(2)各学科等の教育	カリキュラム、収容定員、学修成果
(3)教職員	各教員の担当科目、教員の専門に関する情報
(4)キャリア教育・実践的職業教育	就職支援への取組状況、実習等の取組情報
(5)様々な教育活動・教育環境	学校行事への取組状況
(6)学生の生活支援	学生支援への取組状況
(7)学生納付金・修学支援	学生納付金の取扱
(8)学校の財務	収支計算書
(9)学校評価	自己評価・学校関係者評価の結果
(10)国際連携の状況	留学生の受け入れ・派遣状況
(11)その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

URL: <https://www.iyaku.ac.jp> (北海道医薬専門学校)

授業科目等の概要

(商業実務専門課程 薬業学科) 平成30年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			医薬品基礎	適正な医薬品の管理やチェックができることを目標とする。薬の基礎的な性質に基づき、臨床に使用される薬の性質を学ぶ。	1通	30	2	○			○		○		
○			衛生化学 I	公衆衛生の基本から、食品衛生と環境衛生を中心に、汚染物質や微生物、皮膚科学（アレルギー）について学びます。	1通	30	2	○			○			○	
○			解剖生理学	人体の各名称、構造とその機能を学び、登録販売者に必要な知識を習得します。	1通	60	4	○			○			○	
○			漢方処方製剤	基礎的な漢方製剤と生薬製剤について学びます。	1通	30	2	○			○			○	○
○			基礎化学	製剤に関連する基礎的な化学について学びます。	1通	60	4	○			○			○	
○			基礎疾患 I	臨床でよく聞く基本的な疾患の概要や検査・治療法を理解する。さらに医療用語や略称を理解する。	1通	30	2	○			○			○	
○			社会人基礎力	社会人に必要な能力の基礎を学びます。	1通	30	2	○	△		○			○	
○			就職対策 I	就職活動に必要な自己分析・履歴書・面接について学びます。	1後	15	1	○	△		○			○	
○			生薬学	漢方薬の構成成分である生薬の薬効、薬用部位などについて学びます。	1通	30	2	○			○			○	○
○			登録販売者試験対策 I	過去問題を、解説を交え登録販売者試験に合格する力を身につけます。また本番を想定した模擬試験も実施します。	1後	30	2	○	△		○			○	
○			販売接客マナー I	販売接客員としての電話対応、来客対応などや高齢者・身体障害者などへの対応の仕方を学びます。	1通	30	2	○	△		○			○	○
○			ビジネスマナー	社会人としてのビジネスマナー（敬語、「報・連・相」、電話対応）、周囲の方への気遣い、心配りと医療人としてのマナーも学びます。	1前	15	1	○	△		○			○	

○		薬学検定対策	OTC医薬品、医薬部外品、サプリメントなどの効果効能、作用・副作用、使用上の注意などを学び、薬学検定3級に必要な知識を学びます。	1通	90	6	○	△		○	○						
○		薬剤学 I	医薬品を製剤化する際に品質、有効性、安全性や使い易さがどのように変化するかを学びます。	1通	60	4	○			○							○
○		薬事関連法規・制度 I	薬事法規制による医薬品の取り扱い範囲と、その基礎注意事項について学びます。	1通	60	4	○			○							○
○		薬理学	薬の適正使用とその効果、副作用と作用、様々な疾病に用いられている薬について基礎的な知識を学びます。	1通	30	2	○			○							○
○		ワード演習	パソコンの文書作成ソフトを用いて、文章入力や表作成、図形、画像の挿入についても学びます。	1通	60	4	△	○		○							○
○		キャリア講座 I	医薬業界などで活躍されている方から、必要な知識や求められる人材、社会人として必要な知識を学びます。	1通	30	2	○			○							○
○		医薬品・医薬部外品基礎	医薬部外品、指定医薬部外品、防除用医薬部外品、エアゾール剤の商品知識や主要な医薬品の商品知識を学びます。	1前	15	1	○			○							○
○		医薬品グループ研究	医薬品の商品知識、製薬会社、ドラッグストアの企業研究について学びます。また課題に対してディスカッションと発表もします。	1通	30	2	○	△		○							○
○		サプリメント I	サプリメントの役割、含まれる栄養素や商品知識と取り扱いメーカー、医薬品との相互作用について学びます。	1通	30	2	○			○							○
○		保健機能食品・健康食品学 I	特定保健用食品・健康食品の知識、商品知識、医薬品との相互作用について学びます。	1通	30	2	○			○							○
○		基礎学カトレニング I	検定試験合格のために読解力・文章力・計算など苦手分野の学習をします。	1通	30	2	○	△		○							○
○		ジョブライティング I	就職活動時の履歴書に向け、バランスの取れた文字を書けるように演習を行います。	1通	30	2	△	○		○							○
○		調剤薬局事務 I	保険医薬品の料金の計算を基本として、調剤報酬請求事務を学びます。	1後	30	2	○	△		○							○
○		登録販売者試験対策フォローアップ講座 I	登録販売者受験に対して、弱点を強化・克服するため、集中的・徹底的に学習します。	1後	30	2	○	△		○							○

○	医薬品・医薬部外品各論	医薬部外品、指定医薬部外品、防除用医薬部外品、エアゾール剤の商品知識や主要な医薬品の商品知識を学びます。	2後	30	2	○	○	○											
○	サプリメントⅡ	サプリメントの役割、含まれる栄養素や商品知識と取扱いメーカー、医薬品との相互作用について学びます。	2前	15	1	○	○	○											
○	店舗マネジメント基礎	医薬品小売業界の現状を知り、店舗経営についての運営の仕組み等、基礎を学びます。	2後	15	1	○	○	○											
○	店舗マネジメント応用	医薬品小売業界の流通事情を知り、店舗経営で必要な経営理論を学びます。																	
○	販売マーケティング	ドラッグストアの従業員に必要な心得とマーケティングの基本的な考え方を学びます。	2通	60	4	○	○	○	○										
○	保健機能食品・健康食品学Ⅱ	特定保健用食品・健康食品の知識、商品知識、医薬品との相互作用について学びます。	2前	15	1	○	○	○											
○	医薬品アドバイザー総合演習	医薬品販売員としてお客様に合わせた対応の仕方を身に付けます。店頭で販売されている商品を身近な材料を使用し作成します。	2後	30	2	△	○	○	○										
○	基礎学カトレニングⅡ	検定試験合格のために読解力・文章力・計算など苦手分野の学習をします。	2後	15	1	○	△	○											
○	ジョブライティングⅡ	就職活動時の履歴書に向け、バランスの取れた文字を書けるように演習を行います。	2通	45	3	△	○	○											
○	調剤薬局事務Ⅱ	保険医薬品の料金の計算を基本として、調剤報酬請求事務を学びます。	2前	60	4	○	△	○											
○	登録販売者試験対策フォローアップ講座Ⅱ	登録販売者受験に対して、弱点を強化・克服するため、集中的・徹底的に学習します。	2前	45	3	○	△	○	○										
○	韓国語販売会話	韓国人観光客へ接客対応できるよう、挨拶や簡単な接客の韓国語会話を学びます。	2通	45	3	△	○	○											
○	中国語販売会話	中国人観光客へ接客対応できるよう、挨拶や簡単な接客の中国語会話を学びます。	2通	45	3	△	○	○											
合計			49科目			1740単位時間（116単位）													

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
各教科ごと8割以上の出席かつ前後期の定期試験にて可（60点）以上の成績	1学年の学期区分	前	後期
	1学期の授業期間	18週	

（留意事項）

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3（3）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。